



平成29年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月2日  
上場取引所 東

上場会社名 日本フィルコン株式会社  
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)名倉 宏之

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理・経営企画管掌 (氏名)齋藤 芳治

兼管理本部長

兼経営企画室長

(TEL)042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成29年10月4日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第3四半期の連結業績(平成28年12月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第3四半期	20,760	1.9	1,354	△7.6	1,521	5.2	1,931	55.0
28年11月期第3四半期	20,373	6.3	1,464	37.9	1,447	18.4	1,246	△19.7

(注) 包括利益 29年11月期第3四半期 3,270百万円(885.0%) 28年11月期第3四半期 332百万円(△85.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第3四半期	87.59	—
28年11月期第3四半期	56.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第3四半期	38,371	20,002	51.5
28年11月期	36,129	17,218	46.9

(参考) 自己資本 29年11月期第3四半期 19,749百万円 28年11月期 16,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	7.00	—	9.00	16.00
29年11月期	—	5.00	—		
29年11月期(予想)				6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年11月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 創立100周年記念配当2円00銭

3. 平成29年11月期の連結業績予想(平成28年12月1日～平成29年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	2.7	1,450	△23.5	1,550	△20.3	1,900	14.4	85.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年11月期3Q	22,167,211株	28年11月期	22,167,211株
29年11月期3Q	360,001株	28年11月期	72,491株
29年11月期3Q	22,053,831株	28年11月期3Q	21,979,575株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(29年11月期第3四半期 323,700株、28年11月期 36,400株、28年11月期第3四半期 71,400株)を含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を続けております。海外経済は、緩やかな成長が続いております。

このような状況のもと、当社グループは平成29年度から平成31年度までの3か年を対象とする「中期経営重点課題」および「カンパニービジョン」を策定し、各事業の特性に応じた施策を実施すべく努めました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高20,760百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は1,354百万円（前年同期比7.6%減）となりました。経常利益は持分法による投資利益等により1,521百万円（前年同期比5.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産計上による法人税等△425百万円の影響により1,931百万円（前年同期比55.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は以下の事業で構成されます。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
その他の産業分野	「ふるい分け」「ろ過」、「搬送」用の工業用金網の製造・販売
高機能吸着剤分野	金属吸着カートリッジフィルターや、におい吸着繊維の開発・販売

製紙製品分野では、国内売上高は前年同期に比べ減少いたしました。海外売上高は前年同期並みとなりました。

その他の産業分野では、石油採油用フィルターの販売が減少いたしました。食品業界向けを中心としたコンベアベルトの販売増加および豪ドル高の影響で売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

高機能吸着剤分野の売上高は前年同期並みとなりました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は13,428百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は退職給付費用の減少もあり1,334百万円（前年同期比10.6%増）となりました。一部の連結子会社は退職給付費用の算定に簡便法を採用しており、年金資産の運用が前年同期に比べ好調に推移したため退職給付費用が減少いたしました。

## ②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は以下の事業で構成されます。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体、ディスプレイ、プリント基板、MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターンニングの原版となるフォトマスクの製造・販売
太陽光発電システム設備販売分野	太陽光発電部材の販売、太陽光発電システム設備の販売

エッチング加工製品分野では、大型・中型タッチパネル製品の出荷が減少したものの、製造設備の仕入販売のため売上高は前年同期並みとなりました。なお、大型・中型タッチパネル製品は前期途中より量産を行っていましたが、当期途中に主要得意先が生産を中止したため、当社においても当期途中より同製品の生産が減少しております。

フォトマスク製品分野では、売上高は前年度同期並みとなりましたが、販売単価が下落したため利益は減少いたしました。

太陽光発電システム設備販売分野では、前年同期と比べ受注金額の高い案件の完成引渡し数が減少したため売上高、利益ともに減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は5,148百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益は421百万円（前年同期比33.4%減）となりました。

## ③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は以下の事業で構成されます。

アクア事業	プール、ろ過装置の設計・販売
プロダクト事業	防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売

アクア事業では、前年同期と比べ主に受注金額の高い案件の完成引き渡し数が増加したため売上高が増加いたしました。

プロダクト事業は、前年同期と比べ売上高は減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,403百万円（前年同期比27.7%増）、営業利益は74百万円（前年同期比58.3%増）となりました。

## ④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、当社が保有する不動産を店舗、マンション、駐車場等として賃貸しております。

当期は、前年に引き続き既存の賃貸物件が順調に稼働いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は780百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は585百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

（注）各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異1,062百万円（前年同期比6.9%増）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べ209百万円増加し、18,728百万円となりました。これは主として、仕掛品が251百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,031百万円増加し、19,643百万円となりました。これは主として、有形固定資産の建物及び構築物が574百万円、その他が250百万円、投資その他の資産の投資有価証券が567百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,241百万円増加し、38,371百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ367百万円減少し、11,326百万円となりました。これは主として、賞与引当金が285百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が287百万円、短期借入金が311百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ174百万円減少し、7,041百万円となりました。これは主として、長期借入金が487百万円増加した一方で、その他に含めてあります繰延税金負債が598百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ542百万円減少し、18,368百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,784百万円増加し、20,002百万円となりました。これは主として、利益剰余金が1,621百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,931百万円の増加、剰余金の配当により309百万円の減少）、為替換算調整勘定が911百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月3日公表の業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,196,755	4,027,473
受取手形及び売掛金	7,641,651	7,451,494
商品及び製品	3,065,363	3,185,839
仕掛品	1,844,424	2,096,370
原材料及び貯蔵品	1,161,219	1,172,356
その他	713,362	842,441
貸倒引当金	△104,483	△47,794
流動資産合計	18,518,292	18,728,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,609,810	5,183,968
機械装置及び運搬具(純額)	2,295,398	2,422,958
土地	4,025,861	4,282,242
その他(純額)	497,432	747,989
有形固定資産合計	11,428,503	12,637,159
無形固定資産		
のれん	578,790	545,687
その他	361,591	406,801
無形固定資産合計	940,381	952,489
投資その他の資産		
投資有価証券	3,207,107	3,774,942
リース投資資産	528,188	512,628
その他	1,515,717	1,773,295
貸倒引当金	△8,587	△7,442
投資その他の資産合計	5,242,426	6,053,424
固定資産合計	17,611,311	19,643,072
資産合計	36,129,603	38,371,255

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,756,367	3,468,372
短期借入金	3,160,602	2,849,051
1年内返済予定の長期借入金	1,175,934	1,043,515
未払法人税等	185,673	202,503
賞与引当金	67,270	352,674
その他	3,348,726	3,410,664
流動負債合計	11,694,573	11,326,782
固定負債		
長期借入金	4,061,082	4,548,458
退職給付に係る負債	177,641	194,260
環境対策引当金	133,800	137,440
長期預り敷金保証金	1,433,271	1,347,393
資産除去債務	106,275	105,374
その他	1,304,566	708,760
固定負債合計	7,216,637	7,041,686
負債合計	18,911,210	18,368,468
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	12,732,088	14,354,001
自己株式	△45,106	△222,924
株主資本合計	17,284,888	18,728,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	401,322	719,454
繰延ヘッジ損益	—	14,207
為替換算調整勘定	△749,287	161,721
退職給付に係る調整累計額	7,732	125,549
その他の包括利益累計額合計	△340,232	1,020,933
非支配株主持分	273,737	252,870
純資産合計	17,218,393	20,002,786
負債純資産合計	36,129,603	38,371,255

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
売上高	20,373,750	20,760,999
売上原価	13,177,285	13,406,811
売上総利益	7,196,465	7,354,188
販売費及び一般管理費	5,731,775	6,000,166
営業利益	1,464,689	1,354,021
営業外収益		
受取利息	3,886	2,815
受取配当金	31,900	67,143
持分法による投資利益	150,786	217,177
その他	72,300	140,149
営業外収益合計	258,873	427,285
営業外費用		
支払利息	64,657	63,447
為替差損	93,639	80,793
その他	118,234	115,251
営業外費用合計	276,531	259,491
経常利益	1,447,031	1,521,815
税金等調整前四半期純利益	1,447,031	1,521,815
法人税等	190,924	△425,801
四半期純利益	1,256,106	1,947,617
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,089	15,869
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,246,017	1,931,748



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	1,256,106	1,947,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174,326	318,131
繰延ヘッジ損益	338	14,207
為替換算調整勘定	△727,574	762,942
退職給付に係る調整額	66,636	117,817
持分法適用会社に対する持分相当額	△89,140	109,901
その他の包括利益合計	△924,065	1,323,000
四半期包括利益	332,040	3,270,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,727	3,292,914
非支配株主に係る四半期包括利益	28,313	△22,296

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用し、最近の業績動向等を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において繰延税金資産を追加計上し、法人税等△425,801千円を計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,860,199	5,640,697	1,098,939	773,913	20,373,750	—	20,373,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,796	2,260	720	—	4,778	△4,778	—
計	12,861,996	5,642,958	1,099,660	773,913	20,378,528	△4,778	20,373,750
セグメント利益	1,206,717	633,172	47,037	571,678	2,458,606	△993,916	1,464,689

(注) 1 セグメント利益の調整額△993,916千円は、内部取引にかかわる調整額△2,213千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△991,703千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,428,401	5,148,464	1,403,609	780,523	20,760,999	—	20,760,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,753	1,670	753	—	14,176	△14,176	—
計	13,440,154	5,150,134	1,404,362	780,523	20,775,176	△14,176	20,760,999
セグメント利益	1,334,239	421,746	74,471	585,617	2,416,075	△1,062,054	1,354,021

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,062,054千円は、内部取引にかかわる調整額△1,865千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,060,188千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。